

2017 年アジア政経学会・事業報告

2017 年 6 月 24 日に新旧理事会が開催され、理事長が丸川知雄から園田茂人に交代。第 25 期の執行部体制が確立し、2 年任期の新しいステージに入った。

<学会大会>

2017 年度に実施した学会大会は、春季と秋季の 2 度。

春季大会は 2017 年 6 月 24 日（土）と 25 日の 2 日間、一橋大学（東京都・国立市）で実施された。8 つの自由論題セッション（学会員の個人報告をグルーピングしたもの）、5 つの自由応募分科会（学会員からの提案を受けて設置された分科会）、1 つの共通論題セッションが設けられ、それ以外にも、開催校主催の国際シンポジウムと樫山奨学財団の支援による国際シンポジウム（樫山セミナー）がそれぞれ実施された。

共通論題は「2017：不確実性の時代のアジアと世界」。アメリカにおけるトランプ政権の誕生やヨーロッパにおける Brexit といった不確定要素が、アジアにどのような影響を与えるかについての議論を行った。開催校主催の国際シンポジウムのテーマは「カンボジア大規模アンケート調査報告：ドル化から見える政治・経済の実相」で、「ドル化」をキーワードに、カンボジアにおける政治経済構造を把握する試みを行った。樫山セミナーは「データアーカイブとアジア研究」をテーマに、アジア各地で展開する社会調査のデータアーカイブ化がどのような研究上のインパクトをもっているかについて、多角的に検討した。

秋季大会は 2017 年 10 月 21 日（土）に富山大学（富山県・富山市）で実施された。7 つの自由論題セッション、5 つの自由応募分科会、1 つの共通論題セッションが設けられ、春季同様、多くの報告・議論がなされた。

これらの情報は、学会の公式 HP を通じてアクセスできるようになっている。

<http://www.jaas.or.jp/index.html>

<定例研究会>

今年度は例年より少ない 1 回の開催で、2 名の研究者が報告を行った。

<ニューズレター・学会誌>

ニューズレターは第 47 号を刊行。大会参加録や入退会者情報などを提供し、学会員の利益に供した。

学会誌は、第 63 期第 1 号から第 4 号まで 4 冊を刊行。特集を組むなど工夫することで、刊行ペースを維持することができた。収録論文などは、J-Stage を通じて自由にアクセスすることができるようになっている。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/asianstudies/list/-char/ja>

<顕彰事業>

本学会の学会誌に掲載された若手研究者の論文を中心に、毎年、優秀論文集を選考する顕彰事業を行ってきたが、今年度（第 14 回優秀論文賞）は該当者なしとなった。